

2021/7/17  
矢掛町美川地区

# 災害時に生命を守る 「個別避難計画」

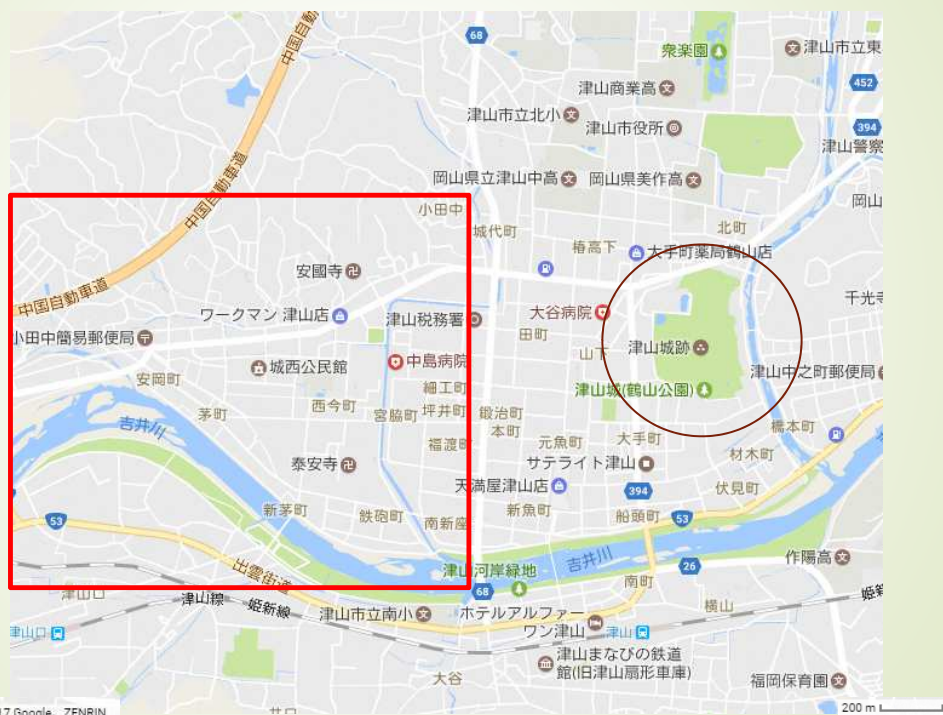
1

岡山県津山市 城西まちづくり協議会  
事務局長（防災士）

佐々木裕子

2

## 津山市城西地区



## 城西地区の現状

- ▶ 人口 4,649人 2,283（世帯）（令和2年1月）
- ▶ 町内会 15町内会（連合町内会城西支部）
- ▶ 高齢化率 約35.7%（津山市30.6%、全国28.7%）
- ▶ 教育施設 西小学校(児童数 約200名)  
城西保育園（約130名）  
津山乳児保育園

「重要伝統的建造物群保存地区」に選定 令和2年12月23日

## 城西地区 旧出雲街道の風景

作州民芸館（明治42年建築）



明治～大正・昭和初期に商店街として  
にぎわった家並み





5

## 地域を流れる吉井川

1998年（平成10年）

内水氾濫による水害  
激甚災害に指定



## 山側の町内

雨が続くと崩れる危険



6

## 平成10年の被害

壊れた天神橋



被災した家から出たごみ（城西地区）



## 2013年（平成25年）8月9日 集中豪雨時の城西公民館周辺



## 城西地区の防災の取り組み

- 平成23年 「城西まちづくり協議会」活動開始  
\* 「まちづくり部会」「福祉部会」「防災防犯部会」
- 平成25年8月 城西地区自主防災組織結成  
\* 防災訓練と3か月に1回の定例会（他部会は毎月） \* 災害時に動けない自主防災組織
- 平成28年 内閣府モデル事業で「地区防災計画」策定に取り組む  
\* 平成28年11月～平成29年3月
- 平成31年度 岡山県地区防災計画策定モデル事業に応募
- 平成2年1月 地区防災計画完成 ⇒コロナ禍の防災訓練など実施



## 2021年7月7日の豪雨

増水した吉井川 15:00頃



地域の「避難スイッチ」



## 近年の主な自然災害と防災の取り組み

- ▶ 1995年 阪神・淡路大震災（兵庫県南部地震）⇒耐震基準見直し  
⇒自主防災組織、防災士制度
- ▶ 2011年 東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）⇒**自助・共助・公助の重要性認識**
- ▶ 2013年 ⇒「地区防災計画制度」創設  
⇒「**避難行動要支援者名簿作成**」が市町村の義務
- ▶ 2018年 西日本豪雨で多くの生命を失う ⇒**個別避難計画**が市町村の努力義務
- ▶ 2019年 台風19号 関東甲信越で大雨  
計画が作られていたところでは犠牲者が少なかった

## 地区防災計画策定地域の成果

2019年10月 長野市長沼地区千曲川堤防決壊



### 長沼地区の状況

- 昭和58年の水害を受けて、毎年6月に地区防災訓練を実施
- 自主活動を続けていた
- 平成26年 内閣府のモデル事業で「長沼地区防災計画」策定
- 平成27年「長沼地区避難ルールブック」作成
- 令和元年（2019年）10月 台風19号で堤防決壊計画に沿って早めに高齢者を避難所に移動避難を断った2名の生命が救えなかった

岡山県民アンケート 2019年（令和元年）12月17日山陽新聞より

## 豪雨後も危機感乏しく

- |                    |                    |                |
|--------------------|--------------------|----------------|
| ■ 災害について           | 「自分は大丈夫」（多分...を含む） | 24.5%          |
|                    | 危ないと思う（少し思う...を含む） | 59.8%          |
| ■ 自主防災組織の存在・活動について | 知らない               | 68.7%（前年69.7%） |
|                    | 本人や家族が参加           | 13.2%（前年12.1%） |
|                    | ハザードマップを持っている      | 27.5%（前年27.9%） |
| ■ 取り組んでいる防災対策      | 非常食や水の確保・避難所の確認    | 34.2%          |
|                    | ハザードマップの確認         | 29.4%          |
|                    | 特に対策をしていない         | 27.3%          |

（「何をすればよいか分からない」31%、「対策する機会がない」24.3%、「災害は起きない」20.9%）

H28年11月～H29年3月（会議は12月から4回実施）

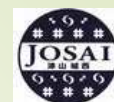
## 津山市城西地区

# ゼロから防災の取組みをスタート

## （内閣府地区防災計画作成モデル事業）

13

### 第1回 城西地区の災害リスクの把握



14

- ・ 地区防災計画の概要説明
- ・ 「地域で協力したほうがいいこと」  
についてのグループ討議



☆第1回会議（H28.12.13開催）の検討結果☆

#### 災害に備え、地域で協力したほうがいいこと

- ①災害時の町内での役割分担
- ②災害弱者対策
- ③災害時の避難ルール
- ④平時のご近所付き合いの活発化
- ⑤町内での危険を把握



## 第2回 災害時の課題のイメージづくり



15

- 地震で怪我をしないために～我が家と地域で備えよう
- クロスロード・ゲーム（災害時における「困った状況」の体験）
- ゲームの振り返りと教訓の抽出

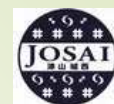


☆第2回会議（H29.1.17開催）の検討結果☆

今後地区で決めておくべきルールとは？

- ①地域の危険箇所を把握しておく
- ②地域の要支援者を把握しておく
- ③町内および町内会間の連携（関係）づくり
- ④災害後・避難所での備え
- ⑤その他（臨機応変な対応ができるようにする、訓練を実施する、等）

## 第3回 地域の危険や資源を知る



16

☆第3回会議（H29.2.21開催）☆

- 地区で想定される災害について話し合い
- 町内会ごとに、災害図上訓練（DIG）で地域の災害に対する強み・弱みを抽出

### ①まちの骨格を知る 1枚目の透明シート

色をぬる





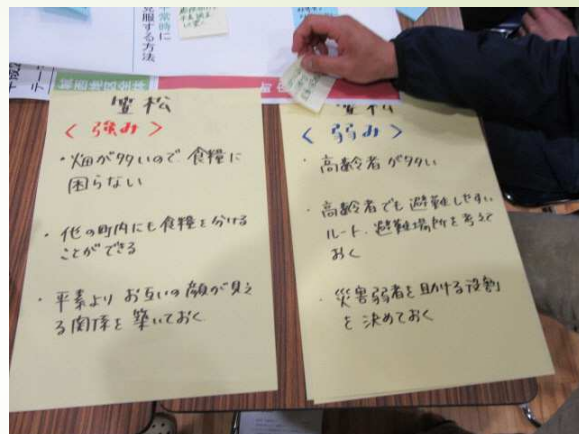
# 第4回 災害時のルールづくりに向けて



17

## 「城西地区の災害時ルールづくり」

- 【ワークショップ】（H29.3.21開催）
- ・城西地区としての災害時ルールの検討
  - ・各町内会のアクションプランの検討  
（各町内会で今後実行する事項の検討）



「城西地区全体で決めること」と「各町内会が検討・実行すること」の整理

分類	大項目	中項目案	地区全体	各町内会
災害時の活動	1. 災害時の役割分担	(1) 町内会間の連携		
		(2) 各町内会における役割分担の方針		
		(3) 各町内会における役割分担		
	2. 避難ルール	(1) 避難所・避難ルートの方針		
		(2) 避難のタイミング		
		(3) 避難所の運営方針		
		(4) 各町内会避難ルールの作成		
		(5) 避難所運営マニュアルの作成		
	3. 災害弱者(要支援者)対策	(1) 平常時の情報把握・管理の方針		
		(2) 災害時の避難支援の方針		
		(3) 避難所における支援の方針		
		(4) 平常時の情報把握・管理		

町内会ごとに、災害に対する強みや弱みを確認して、町内会の特徴に応じた必要な対策とともに、地域の強み・弱みを活かした連携を進めていく。

18

## 平成29年3月 内閣府モデル事業終了！

★★内閣府のモデル事業で分かったこと★★

“自然災害は避けられない”

“災害時に生命を守るのが防災”



自主活動スタート



令和2年1月 岡山県モデル事業で  
「津山市城西地区防災計画」策定